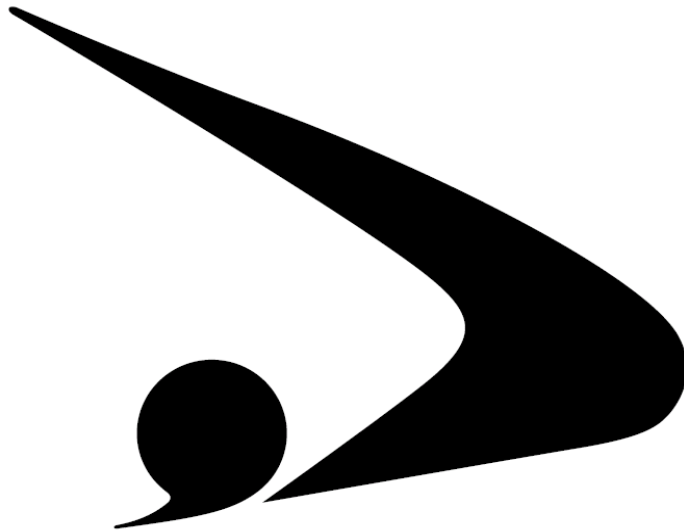


平成 2 8 年度

秋田県税務統計書



秋田県総務部税務課

No. 65

は し が き

平成28年度の我が国経済は、前年度から続く中国等の新興国や資源国の経済減速、英国のEU離脱方針の決定による海外経済の不透明感の広がり等により、年度前半は輸出が伸び悩み、足踏み状態となりました。しかし、その後は、中国経済の回復、アメリカ新政権への期待によるドル高・円安基調により、輸出が持ち直し、企業収益も過去最高水準となりました。

県内経済は、小型・普通車向けの自動車部品の生産が上向き、機械金属で改善を見たほか、主要産業である電子部品・デバイスも堅調に推移しました。また、雇用面でも過去最高の有効求人倍率を記録した前年度から、さらに改善を示すなど、回復の兆しが見られました。

こうした中で、平成28年度の県税収入は、前年度より5億7,753万円増の909億3,181万円と5年連続の増収となりました。これは、堅調な企業業績や地方法人特別税からの一部復元の反映による法人事業税の増収や、納税義務者・所得総額の増加による個人県民税の伸びに加え、低燃費車を中心として自動車販売が持ち直したことによる自動車取得税の増収を主な要因とするものです。

平成28年度から平成29年度への未納繰越額については、その約8割を占める個人県民税が1億1,265万円減少したことを要因として、前年度より1億2,516万円減少しました。なお、未納繰越額の減少は6年連続となります。

この統計書は平成28年度の県税決算を中心に、県税の概要と関係資料を収録したものです。本書を通じて本県における税の現状について御理解を深めていただければ幸いです。

平成29年12月

秋田県総務部税務課長 伊東 弘毅